

【会議記録】

第2回一宮市部活動地域移行検討協議会

日 時	2024年8月9日（金）14時30分～16時00分
場 所	一宮市役所 901会議室
出席者	委員14名（鈴木、宇佐美、土川、長谷川、秦、高木、町田、五藤、伊藤、芳賀、江藤、花村、今村、森）

1 開会のことば

2 一宮市教育委員会あいさつ（教育長）

3 報告事項

（1）一宮市休日地域クラブ活動・研修会について

○ 事務局から以下のように報告があった。

- ・一宮市の目指している部活動の休日地域クラブ活動への移行に向けて、モデル事業の1年間の実施の流れと、夏季休業中の活動時の熱中症予防について共通理解を図った。また、市補助金利用に係る提出書類や、謝金支払いに係る源泉徴収などの事務手続きについて実施団体に説明した。

○ モデル事業を行う中で、実施団体は移行に向けて運営面で様々な課題が出てきている。団体ごとに丁寧に聞き取りをし、市と一緒に考えていけるとよいのではないかな。

（2）令和6年度後期モデル事業・参加者募集について

○ 事務局から以下のように報告があった。

- ・9月開始の後期モデル事業は、1・2年生を対象に実施種目・活動拠点を増やして、現在参加者の募集を行っている。また、学校施設の利用に合わせて、今年度中の市内全19中学校の体育館と一部の学校の武道場への電子鍵の導入が決定し、各校との取付の打合せが始まった。

4 議事

（1）休日地域クラブ活動に係る業務のすみ分け表について（案）

○ 事務局から以下のように提案があった。

- ・休日地域クラブ活動への移行を進める上で、「事務局」「実施団体」「学校」「保護者」それぞれが担うべきことをすみ分け表にまとめた。また、令和7年度以降の「事務局組織」として、地域移行全体のコーディネート役として新たに専従の事務局長を置くことや、実施団体サポート業務の一部を外部委託することなどを検討している。

○ 現在モデル事業を行う種目が増えてきているが、希望する生徒の受け皿として足りている種目と足りていない種目がある。アンケートを基に、種目ごとの目標数をもって規模を広げられるとよい。

○ 団体は参加費の徴収や各指導者への謝金の支払いが大変と感じているのではないかな。団体にとってどんなことが大変なのかを考えて整理し、支援していく必要がある。

（2）令和7年度地域クラブ活動への参入条件について（案）

○ 事務局から以下のように提案があった。

- ・「一宮市の地域移行の方針を理解し、地域移行クラブのガイドラインを守ること」や、「指導を継続的かつ複数で行い、定期的に研修会へ参加すること」などを、参入の条件としてまとめた。また、これから参入を考える団体・指導者には説明会を開き、来年度のモデル事業への参入を進めたい。

○ 参入条件は、移行の目的にしたがって活動していただくという最低限の内容とし、子どもたちを受け入れる準備ができているということを確認できればよいのではないかな。その点で言えば、団体の「実績」や「運営体制」についても確認できるとよい。

（3）令和6年度児童生徒・教職員・部活動外部指導者アンケートについて（案）

○ 事務局から以下のように提案があった。

- ・児童生徒へのアンケートでは、地域クラブ活動を含めた「土日の過ごし方」について調査を行い、各種目の参加希望の規模感を把握する。また、教職員・部活動外部指導者については、改めて休日地域クラブ活動の指導に携わる意思がある方がどれくらいいるかを確認していきたい。ともに9月中の実施を目標に準備を進め、10月下旬の第3回の協議会でアンケート結果を示していきたい。

○ 我々にとっては実態把握のためのアンケートだが、子どもたちにとってはアンケートを通して土日の過ごし方の様々な選択肢を知り、考える機会としていけるとよい。

5 一宮市教育委員会あいさつ（教育長）

6 閉会のことば